

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

2024年4月1日（No.25） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

中期経営計画2025達成に向けた正念場の一年

**人財の確保・定着を通じ、安全・安定・安心輸送の確立、
持続可能なJ R 四国グループを創り上げよう！**

J R 四国労組は昨年7月の大会で決定したスローガン「団結 創造 実践 新たな局面を迎えたコロナ禍を乗り越え 『ユニオンビジョン2023』の前進を図り さらなる組合員・家族の幸せを実現しよう！！」のもと、運動方針の3本柱である『安全・安定・安心輸送の確立』『組織の強化・拡大』『労働条件の改善』を中心に、積極果敢に活動を展開してきました。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の5類相当へ引き下げられたことにより、3年以上続いたコロナ禍による危機的経営状況から脱することができた1年といえます。一方、若手・中堅層を中心とした離職拡大が最大の経営課題となっており、労使一丸となり人財確保・定着に全力で取り組まなければ、安全・安定・安心輸送をはじめとする事業運営に支障を来たしかねないという、新たな危機を迎えています。2024年度においても「ユニオンビジョン2023・私たちが考える『持続可能なJ R 四国グループをつくる人財確保』～誇りを持ち安心して働き続けることのできる環境づくりに向けて～」の実現に向け、諸活動を通じて前進させていく考えですが、スピード感を重視し、タイムリー且つ効果的な取り組みが求められていることを意識しながら、とりわけ2023春闘から続く賃金改善を一層積み上げ、働きがいを実感できることが重要だと考えます。

以上の認識のもと、J R 四国労組は、J R 四国及びジェイアール四国バスの責任組合として雇用と生活を守ることを念頭に、組合員とその家族の幸せ実現に向けて取り組む決意です。そして、そのためにも、J R 四国グループ2024年度事業計画の営業収益532億円、鉄道運輸収入226億円を確保すべく、グループ一体となった営業施策の推進に貢献するとともに、「四国再発見増収キャンペーン」「利用促進キャンペーン」の積極的な参加に向け、全組合員が一丸となって取り組むことを要請します。

2024年4月1日
四国旅客鉄道労働組合